

キラキラ

…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:93 平成22年1月15日

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。



	<p>たくさん素敵な出会いがありますように！</p> <p>(専門相談員) 木村智子</p>	<p>心は丸く、気は長く、テキパキ、シャキシャキしたいと高望みの私です。</p> <p>(専門相談員) 須保絹江</p>	<p>「虎年はトライする」と発信する。社会の中で生きる力になりたい。</p> <p>(専門相談員) 木村多磨子</p>	
<p>たくさんの人と出会って、いつも笑顔で。今年もさらに「私らしく！」</p> <p>(専門相談員) 原田大裕</p>	<p>皆が笑顔で暮せる社会を目指して話し合って行けたらいいね。</p> <p>(専門相談員) 佐々木直子</p>	<p>今年は年男！じっくり話を聞いてすばやい対応で臨みます。</p> <p>(専門相談員) 上村英樹</p>	<p>世の中の流れに浮き足立たず、体も心も社会も整え、鎮める年に！</p> <p>(専門相談員) 内田満</p>	<p>自然体をモットーにできることを真剣に取りくむ一年を目指します。</p> <p>(専門相談員) 服部祐充子</p>
<p>今年は、元気発進！NPOとの協働を力強く進めてまいります。</p> <p>(スタッフ) 吉田幸二</p>	<p>今年は坂本竜馬のごとく常に進取の気概をもって行動するぞ～</p> <p>(スタッフ) 高橋幸弘</p>	<p>うきうきわくわくがいっぱいの一年になりますように。</p> <p>(JICA 国際協力推進員 北九州) 橋口恵利子</p>	<p>市民活動のために頑張りながらも、もっと子供と遊ぶ時間を大切にしたい。</p> <p>(スタッフ) 宇津崎徹也</p>	<p>市民活動をされる皆さんの一助となるよう、今年も頑張ります。</p> <p>(スタッフ) 石川美奈子</p>
<p>環境に優しいシンプルなくらしを心がけたいです。</p> <p>(スタッフ) 山田美代子</p>	<p>まったりのんびり、心はハッピーに過ごしていきたいです。</p> <p>(スタッフ) 佐藤千春</p>		<p>心も体も健康で、いつもの平凡な毎日を心豊かに送りたい。</p> <p>(スタッフ) 坪根真澄</p>	<p>ボランティアは奥が深い！熱い心と智の力で支援したい。</p> <p>(スタッフ) 杉山美奈子</p>

第97回・サポートセンターの日/2009・12・14

“クリスマスだよ、専門相談員さん全員集合！！”と題して6人の専門相談員さんに自由にお話をいただきました。



月曜日 内田 満さん

平成12年にNPO法人スポーツウエイヴを作りました。福岡県では初めてのスポーツNPOです。お年寄りや子どもをはじめ、より多くの人に楽しいスポーツと正しいスポーツを伝える活動を行っています。サポートセンターの相談員としては、7年間、主にNPO法人申請・運営等に係る相談などを担当してきました。学校と職場からスポーツが無くなっていると言われていた現在、地域でのスポーツの振興を目的に文部科学省が全国展開している総合型地域スポーツクラブの育成のお手伝いもしています。これからは、スポーツを通じたひと・まちづくりに力を入れて行きたいと思っています。



木曜日 原田 大裕さん

生後間もなくてんかんを発症し、5歳までの命と宣告されました。奇跡的に回復しましたが、その後遺症もあり、いじめ、不登校、引きこもり、自殺未遂とフルコースの体験をしました。現在はリコーダーを片手に、全国を飛び回り、その体験を語っています。お声かけいただいたら、飛んでいきます。6年前、サポートセンターでスタッフの方にいろんな話を聞いていただいたことが、現在の活動の大きな力になりました。今度は自分が相談員として力になればと思っています。相談したいことがわからないことが相談かもしれませんから気軽ににおしゃべりに来て下さい。
—リコーダー演奏 曲：西村由紀江「語らい」—



火曜日 佐々木 直子さん

結婚当初は夫の勤務で他県に住んでおり、そこで知り合った同じ歳の女性に障害を持った子どもが産まれたことが障害者福祉のボランティア活動を始めるきっかけでした。“障害を持つ子はなぜ子ども会に入れないの？”など不思議に思うことばかりでした。そんな時、民生委員の会長さんとの出会いがあり、目の不自由な方のドライブや障害を持つ子と持たない子のクリスマス会を企画するなど、当地で13年間過ごしました。その後、夫の転勤で北九州市に帰り、北九州市障害福祉ボランティア協会で活動する傍ら、男女共同参画、まちづくりの仕事に勤務しました。専門相談員として、今まで活動してきたネットワークを活かし、人や情報を繋げていきたいと思っています。



金曜日 服部 祐充子さん

「地球交遊クラブ」を立ち上げ、大学生、留学生を中心とした国際理解活動やまちづくり、自然保護活動をしています。私の活動の原点は、40年前に地域で子育てサポーター的役割を担っていた両親の姿です。20年間の音楽の仕事の後、約10年間父の在宅介護を体験したことが、社会に目を向けるきっかけとなりました。子育ての傍ら、地元大学の留学生への日本語指導ボランティアをしつつ、生涯学習を学ぶ中、紛争と貧困の国々で緊急医療支援活動続ける桑山紀彦さんの「地球のステージ」に出逢いました。3年程応援させて頂く中で、世界から日本を見ることの大切さを学びました。相談員として、私が得た出会い、繋がりバトンを渡していきたいと思っています。
— 戦地ガザ 地球のステージ DVD上映 —



水曜日 須保 絹江さん

ボランティアを希望される方にアドバイスをしたり、ボランティア団体、施設等との縁結びをしています。また、話していく中で、心の問題に気づいた場合は、カウンセリングにも対応します。わたぼうしコンサートをはじめ、障害者福祉に長く関わり、役所への様々な陳情等も行ってきました。自分自身が多くの方々を支えられてきたので、自分も何か出来たらという思いから、心を支えるボランティアを20年以上続けています。私自身、年々ポリオの状態が進んでいますが、この状況を受け入れながら「支えられ上手」になり私自身も人を支えられる人になりたいと思っています。出会いを大切にしたいと考えています。



土曜日 木村 多磨子さん

2歳で父を亡くし、病気がちだった母の世話をするうち、母からの勧めもあって看護の仕事に就きました。40年間看護師として働き、最後は救急救命センターに勤務しました。平成11年に介護保険制度が出来てからは5、6年、介護施設に勤務し、現在は北九州市健康づくりセンターで生活相談もしています。人生の節々で多くの人と出会い、力を得ました。看護職の体験に加え、大学で学んだこと、ボランティア養成講座や地域リーダー養成講座等で学んだこと、また地域のコミュニティの中で学んだことなどを活かして、医療・看護に関する相談だけでなく、幅広い相談に対応していきたいと思っています。

イベント情報

◆第22回シンポジウム 生きて死ぬということ PARTV ～賢い患者学 第2弾～

- 日時：3月6日（土）13：30～16：45
受付13：00～
- 会場：ウェルとばた 2階多目的ホール
- 基調講演：上野 千鶴子氏（東京大学大学院教授）
「おひとりさまの在宅みとりを支えるもの」
- 登壇者：市原 美穂氏
（NPO法人ホスピス宮崎理事長）
萬納寺 正清氏
（医療法人 聖亮会 理事長）
- コーディネーター：富安 兆子代表
- 参加費：500円／会員無料
- 主催・問合せ・申込先：
高齢社会をよくする北九州女性の会
TEL093-583-7604
FAX093-583-7364
月・水・金10：00～17：00
火・木 13：00～17：00

◆思春期の心の問題とその支援

～うつ、摂食障害、PTSD・・・思春期以降の心の問題と対人関係療法を用いた取り組みについて～

- 日時：2月21日（日）13：30～16：00
- 場所：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
5階小セミナールーム
- 講師：水島 広子氏（精神科医）
- 対象：対人援助職者
- 定員：50名（先着順）
- 託児：6ヶ月以上就学前まで（要予約）
- 申込み：電話、FAXもしくはHPのメールで基本事項（氏名、郵便番号、住所、職種、年齢、電話番号）と託児希望の場合は子供の名前と年齢を下記まで。
- 問合せ先：
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
TEL/FAX093-583-5197
HP：<http://www.kitakyu-move.jp/>

助成金情報

★平成22年度 森林づくり活動公募事業

福岡県では森林環境税を活用し、県内のNPO・ボランティア団体等による森林整備、里山保全、森林環境教育などの活動に助成します。

☆助成額：補助対象経費が50万円以下の部分は補助対象経費の10分の10以内
補助対象経費が50万円を超える部分は補助対象経費の2分の1を加算。

ただし、補助金の上限額は100万円

☆応募締切：2月15日（月）必着

☆問合せ先：八幡総合庁舎

八幡農林事務所林業振興課普及係

TEL093-601-5567

福岡県農林水産部林業振興課緑化係

TEL092-643-3548

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/f18/room-mori-koubou-syuryo.html/>

★「第7回九州ろうきん NPO助成」

主たる活動事務所が九州ろうきんの営業所エリア内にあるボランティアグループ、市民活動団体、NPO法人に支援します。

☆対象となる事業活動

- （1）生活・福祉の向上に役立つ活動
- （2）自然環境の保全・回復に役立つ活動
- （3）地域文化の継承・発展に役立つ活動

☆助成総額 1,560万円（福岡県300万円）
1団体上限 30万円

☆申請締切：2月14日（日）当日消印有効

☆九州ろうきん福岡県本部「NPO助成」係

〒810-8509

福岡県福岡市中央区大手門3-3-3

TEL092-714-7143

<http://kyusyuu.rokin.or.jp/>

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. 内閣府で認証されるのと都道府県で認証されるのでは、格か何かが違うのですか？

A. 内閣府の認証であろうと都道府県の認証であろうとNPO法人に変わりはありません。

内閣府に申請できるのは、事務所を2つ以上の都道府県に置く場合のみです。同じ県内に事務所を複数設置する場合には、その県の認証を受けなければなりません。

また、認証を受けたからといって、お墨付きをもらったというわけではありません。書類に不備がなければ、所轄庁（内閣府、都道府県）は、認証を出さなければなりません。



（参考）NPO法人設立センター

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年11月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	37,026	35,718	446
【福岡県】	1342	1,307	1
内閣府	3,317	3,088	132
全国計	40,343	38,806	578

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年12月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	288	248	—

サポセンスタッフが行く…☆

はじめまして…
新しい専門相談員です！！



木村 智子

NPO法人 YOU・ゆう 理事

分野：高齢者・障がい者とその家族の支援

趣味：食歩歩き

介護支援専門員の資格を活かし、介護保険や介護に関する相談・支援が出来ます。気軽にお話をしに来て下さい。お待ちしております。

藤田町商店街の空き店舗を利用した
ビッグママ・キッチン



去る11月26日(木)の休館日を利用して当センターのスタッフ4名で市内の施設を視察しました。八幡東区ボランティアセンター、八幡東区子育て支援施設「親子ふれあいルーム」、北九州国際交流協会、JICA九州、藤田町商店街にある「ビッグママ・キッチン」、「北九州あいの会」本部、中心市街地活性化対策プロジェクトスイーツの駅「96cafe」を訪問しました。それぞれの視察先で業務内容をお聞きし、施設内を見学させて頂きました。お忙しい中、時間を割いて視察にご協力くださった方々にはとても感謝しています。

編集後記

ここ数年、手帳を持たない生活を送っています。手帳を持つとついそれに頼って、手帳を忘れたときにとっても困ったことがあったからです。今では手帳が無くても、大丈夫♪意外と覚えていて楽しいです。

しかし、この時期になるとやはり1月なので今年は手帳を持つのかな、と迷います。日々の出来事を書き込みたい…そこで今年は日記を書く習慣を身につけようと思います。

楽しい日記がたくさんつけられるような素敵な年にしたいです☆

By. ち～☆

北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日《10:00～17:00》
【休館日】1月28日(木)